上尾市議会議員

チェンジ！
上尾・伊奈の未来を拓く。

尾花あきひと

1983年 上尾生まれ(38歳)。明治大学政経学部卒。
家族：妻・長女・父・母・弟・愛犬・愛猫2匹。
共同テレビジョン他映像業界勤務後、地元企業活動を経て市議に。議会改革特別委員長、自民党 上尾支部長・埼玉県第六区青年局長。

活動レポート
第23号

ブログ更新中 ▶

〒362-0035 上尾市 仲町1-5-7　Tel：048-773-7033　Fax：048-773-6287

発行日：令和４年 ２月11日　「尾花あきひと後援会」は平成27年５月19日 政治団体届出 以来 会報を発行しております。　発行責任者：甲斐茂夫

上尾と伊奈、埼玉県の連携を質問！

コロナ対策の陰に隠れがちな 上尾市固有の諸課題を取り上げ、地域の将来を見据えた 伊奈町、埼玉県との連携のあり方等について、質問・提案を行いました。
感染症と経済の対策は引き続き重点課題ですが、短期的視点だけに陥らないよう中長期的ビジョンや 役所の縦割りを超えた提案に 引き続き 努めてまいります。

【取り上げた主な項目】

1. 新環境センター整備（伊奈町との連携）
2. 水上公園エリアの今後（埼玉県との連携）
3. 人口動態をふまえた戦略（子育て支援等）
4. 事務と人事に透明性を
5. GLP、イオン周辺の環境改善
6. 議会と行政の適正な関係性

▲動画

❶ 新環境センター整備（伊奈町との連携）

上尾・伊奈は共同で 新ゴミ処理施設整備を進めています(R15年稼働)。上尾の現施設は耐用年数が迫り故障・修繕が続発。私は 議員就任当初より「現施設の寿命から逆算すると新施設計画の着手が遅れている」点を指摘し、市に対して「今後の方針を早期に示す事」「予測される高額な整備費に対し国の『循環型社会推進の交付金(最大補助率1/2)』を効果的に活用する事」「新施設完成まで 現施設を延長稼働するとした市の方針について 丁寧に説明する事」を要望してきました。

その後、施設整備に関して上尾・伊奈は正式合意し、候補地の選定、両市町のゴミ処理ルール統一の協議と進み、今後は基本構想 ～ 建設へと向かう流れです。

議会質問では (1)自治体をまたぐ新施設の運営方式をどうするか (2)地元の動きは (3)環境美化運動を市内バラバラで実施しているが 日時を統一し伊奈町とも共同開催して環境意識を高める大イベント化しては (4)単純な施設単体整備の発想でなく 一帯の開発の為候補地周辺の農業振興地域指定を外し 柔軟な土地活用を検討しては 等を質問しました。市の答弁は、(1)用地を有する伊奈町への全面委託ではなく 専門人材の独自採用も可能な「一部事務組合」を新たに設置し運営したい。伊奈と協議するが 国の交付金活用のため今年秋までに決定する (2)12月に地域説明会、ゴミ分別案について全市民対象の説明会を実施した。候補地周辺の平塚地区の柊・中通地域では「土地利用の研究と整備促進」の協議会が立ち上がったと聞いている (3)各団体等の意向を確認し、統一日での開催を打診する。伊奈との共同開催も検討したい (4)都市的土地利用の開発地とする予定は現時点ではない 等の回答でした。

候補地南には 都市計画道路 上尾伊奈線 整備が計画されており、これと合わせ工業地帯化等で一帯を面整備し「賑わい創出」に繋げるべきとの声もありますが上尾側の周辺土地は農業振興地域ゆえ 市から県に対し用途変更手続きが必要です。市は姿勢を明示していませんが、数十年使用する施設ゆえ、前例踏襲でなく 長期的な地域開発に繋がる柔軟な土地活用も検討すべきです。環境アセスで協力を得るべき地元や 伊奈町の声を捉えた連携を 働きかけてまいります。

❷ 水上公園エリアの今後（埼玉県との連携）

7つのプールを持ち、当時「東洋いち」といわれたレジャープール。ピーク時には 年間86万人の来場者数を記録した

50年の歴史を人々と共に歩んだ水上公園が閉園となり、R3年末の「さようならイベント」では「波のプール」が 来場者による 感謝の言葉のペイントで 埋め尽くされました。

H24年から 老朽化等によりプールが順次閉鎖された当公園を含む「県立 運動公園全体のより良い再整備」は県央地域の強い願いです。昨年迄は、県が「屋内50mプール・スポーツ科学拠点施設」の整備地を選考中で、誘致に臨んだ上尾は 要望活動や市長プレゼンに取り組みましたが、市が積極的に周辺整備に関わる姿勢等で他市が勝り、50mプールは川口に設置される方針に。当初 一括整備予定だったスポーツ科学施設のみが分離され 上尾に整備される方向となりました。

市は「科学施設の誘致」を成果の如く広報しましたが、私は「公約はプール誘致だったはず。失敗を正面から検証しない姿勢では 今後の公園整備も不十分な成果に終わる危険がある」と指摘。この後、市は 科学施設を含む運動公園全体の再整備に関し、商工業や医療界、地域住民等の各界から意見を聴取し 提言を県に提出する考えを示しました（県計画が固まった後では要望は反映されにくいため 先に提出する事は有効ですが、県スケジュールへの配慮か 提出予定時期が拙速、かつ 市民から募集をしない点には 疑問を指摘しました)。

県は「市からの提言に期待する」と発言したようですが、元々 一括整備予定だった施設が上尾・川口に分割された以上、双方に大規模予算がつく事は困難ではないかと予想されます。私の質問で「元の一括整備案 時点での予算規模は2～300億円と報道もあったが、分割整備方針が出て以降 上尾に対し県が想定する予算規模を 市側で把握できているか」と尋ねた際、市答弁は「把握していない」等の不明確な状況であり、県が「様々な提案を」と述べていても 予算が限られていれば、民間からの投資を模索する可能性が想像できます。ならば、全国的に見ても広大でアクセスに優れる この県有地の潜在力を最大に生かした投資を呼び込むには、民間との意見交換や市場調査を 広い範囲 かつ一定の時間的余裕をもって実施すべきと考えます。多くの人々が想い出を持つ場所の後継として相応しい再整備を行うよう、県への申し入れを 要請しました。

一般質問は 裏面に続きます

ウイグル問題等 中国に強い働きかけを求める意見書 を国へ提出

私の発議により 日本政府から強い働きかけを求める意見書を 上尾市議会として国に提出しました。国際法上の犯罪であるジェノサイド（集団虐殺）と認定された 中国政府による ウイグルや香港等での人権侵害は 遠い国の出来事ではなく、将来の自国への脅威を防止する為にも、今 国際社会が一丸となり対処すべき問題です。政府の後押しや 地域の声を届ける「意見書」も 地方議会の機能の１つです。

自民党 上尾支部　街頭活動。 新成人の未来に幸あれ！

支部街頭活動の傍ら、成人式を迎える新成人へエールを送らせて頂きました。中根代議士も駆けつけ 今後 首都高が延伸し上尾に出入口が新設される事業 等の身近な政策も紹介。日頃交流のある新成人にもお会いでき、私達も元気を頂戴しました。

上尾支部は 透明な地域政治を実現し、若年層をはじめ多世代が 愛する地域や国の将来を 自らの手で選択していく為の 情報提供や意見交換の場を作ってまいります。

❸ 人口動態をふまえた戦略（子育て支援 等）

コロナ影響等により 東京からの人口流出が続き、都心から一定距離で人口増となる ドーナツ化現象が発生中。上尾も人口が増加し、チャンスと同時に 類似条件の他市に勝る魅力のＰＲが必要です。

「都市と地方の境の本市こそ、施策によって 人口がプラスマイナス両面に転じ得る『特別な地域』としての自覚が必要である」と指摘しました。人口減による全国一律の削減論を大前提に出来ない為、このエリアは 自ら知恵を絞らなくてはいけません。将来人口予測も高位・低位に推移した場合を想定しそれぞれのシミュレーションを改めて行うべきと提案し、市は一定時期での実施方針を答弁しました。

また「大きな人口増を成功させた他市は 子育て施策の充実が共通点である事」を紹介し、通勤者が多く 核家族割合が高い 埼玉県の特性を述べた上で「子育て支援策として『送迎保育』を導入すべき」と提案しました（送迎保育とは、駅前等に「送迎保育ステーション」を整備し、通勤者等が子供を預け バスが市内の各認可保育所等に送迎する事業）。市から「駅利用者の保育需要の為、まずは駅周辺への保育所整備を進める」との回答は引き出しましたが、私は「国が送迎保育を強く推奨している」動向と、物件やバス購入費・人件費等に対し 最大1/2を国が補助する制度を情報提供し 導入を再要請しました。駅前保育所整備は是非進めて貰いたいですが、その課題は「駅周辺で用地確保が容易でない」点であり、この解決策としても送迎保育は有効です。市は他市調査を実施する意向ですが、近隣市は続々と導入しています。コロナを経て 市が子育てをはじめとする都市戦略を 如何に捉えるかが問われます。

送迎保育 事業イメージ

❺ GLP（横浜ゴム跡地）、イオン周辺の環境改善

完成予定図 日本GLP（株）HPより

「横浜ゴム跡地に、日本GLP(株)が 総額230億円で 床面積10万平米超の大型物流倉庫を開発する」と報道がありました（R4年9月着工・R6年2月竣工予定）。市の情報把握状況を尋ねたところ、市は「先方と まちづくりの方針等の打合せを行った。物流倉庫建設に関する説明会は未開催だが、解体について近隣町内会長と住民に説明したとの事である」と答弁。大型店舗は通常、法律に基づき交通処理計画等を県に提出する形になりますが、本件は小売店舗ではない物流倉庫の為 これが適用されず、かつ住宅密集地への開発というやや特殊な案件です。周辺では 旧中山道の上尾陸橋交差点を中心として 南北に慢性的な渋滞が発生しており、今回の開発による更なる渋滞可能性に対し 多くの皆様の ご心配があります。

私の質問として (1)渋滞状況の認識 (2)そもそも長年の渋滞は 埼玉県管轄道の旧中山道の右折帯の未整備等が主要因なのは明らかである。市として県にどう働きかけているか (3)都市計画決定済みの右折帯や道路拡幅が進まない実情を掴んでいるか 等を質問。市の答弁は (1)イオン開店後に調査を行った結果 1kmを超える渋滞が週末を中心に度々発生しており、今後の更なる状況悪化に 市も強い危機感を持っていた (2)R2年に 県に対し 道路拡幅の推進、右折帯整備予定部分の地権者等に対し 用地提供の要望を提出し、各種行政機関との調整会議でも 改めて 右折帯の設置を要望した (3)県は用地について 地権者と取得の交渉中だが 合意に至っておらず、今後も取り組むとの事である 等の答弁でした。右折帯と道路拡幅は 県の交渉経緯を見守りたいと考えますが、物流倉庫開発は 法的に市が取れる情報に限りがある中でも、生活環境影響が大きいため 積極的な関わりを要望しました。

❹ 事務と人事に透明性を

現市政は「公平公正」をうたい 倫理条例等を制定してきましたが、不正防止の条例作成中に公金不正支出が発生。本来１本である工事を意図的に分割発注した(競争入札不要となる少額契約に分割し 業者指定が可能な随意契約を乱用していた疑い)事が発覚する等、不祥事の根絶には 言葉だけでない 実効性ある防止策が必要です。私から「内部統制制度」(法令を 組織全体で遵守するため 不適正事務が起き得る危険箇所をリスト化し チェック結果を定期的に公表するもの)導入を提案したところ、当初は積極性が薄い反応でしたが、その後 H26年～R元年に市が発注した工事4,636件のうち 790件(約17%)が自治法に違反する不適正な分割だった事が発覚。内部統制が早期導入となりました。公平公正という言葉だけでなく 上尾市政には 透明性が必要です。

また 上尾市役所は職員の昇任時に筆記試験等がなく 採用時の試験科目には 地方自治法と地方公務員法が ありません。他市では これらの科目が採用時に無くとも、一定の責任ある立場への昇任時に行う筆記試験で科目化する等をしています。

不祥事防止や政策立案力の基礎となる知識底上げと同時に、不透明で「情実」的な人事の可能性を排除できるため、「上尾も昇任試験を導入しては」と質問したところ 市は「知識は研修等で高め、昇任の選考は人事評価制度のみで引き続き行う」と後ろ向きと言わざるを得ない回答でした。

私は「人事は単純な内部管理ではない。その市が市民目線という言葉を使っても、いざとなると組織の論理を優先していないか測る指標にもなる。県内40市のうち32市が昇任試験を導入している」と指摘しました。市が述べた人事評価制度の有効性については、R2年度の上尾市職員アンケートで「とても有効・多少有効」と答えた人の割合の合計が 25.2%という低い結果であり「人によって評価が違う」といったコメントも出ています。

市民に対しても 職員にとっても より公平公正かつ、透明な人事制度を検討すべきと考えます。

❻ 議会と行政の適正な関係性
（あわせて 議会改革の動き）

市長と役所に対し 適度な緊張の元、議会が監視と提案を行うのが地方自治の基本です。これを改めて確認すると共に、私が委員長を務める 議会改革特別委員会では、政治倫理条例の次の段階として、議会機能の実効性を強化し 市議会の基本姿勢を宣言する「議会基本条例 」制定に向けた議論を行っています。少子高齢社会の現代において、議会は、「現在市民のニーズと将来世代の選択肢」の バランスを判断する責任がより大きくなると思われます。

政策を決定する議論の過程を住民と共有し、より議員同士が討議する場面を生む「議員間討議」の導入も試行に向け 協議中です。議会内は会派を超えて柔軟な議論が生まれるようになっていますが、議会は常に変動する民意を吸収してはじめて力を発揮する機関です。対面での交流が困難な状況ですが、引き続き お声を是非、お寄せください。

市民相談

商工企業	46
子育て	38
教育	24
高齢福祉	46
医療	109
交通防犯	38
土地住宅	14
建築下水道	16
防災	30
税制	11
国際	12
環境問題	21
道路改修	51
コミュニティ	24
その他	41
計	521

尾花あきひと プロフィール

1983年 上尾生まれ (38歳)
明治大学 政治経済学部 卒
家族：妻 長女 父 母 弟 愛犬 愛猫2匹
略歴：ドラマ 映画助監督(共同テレビ等勤務)
大和商事(株)常務取締役
公職と地域活動歴： 自由民主党 上尾支部長、埼玉県第６区青年局長
上尾市議会 総務常任委員長、議会改革特別委員長
上尾・伊奈広域行政協議会 委員 上尾・桶川・伊奈 衛生組合 議員
明治大学校友会 埼玉県東部支部 幹事 (公社)埼玉中央青年会議所 常任理事
上尾商工会 議所青年部 理事 伊奈町商工会青年部
上尾伊奈防火安全協会 理事 上尾仲町商店会 理事
日本防災士機構 防災士

尾花あきひと 検索